

当院 耳鼻咽喉科で頭頸部がんの治療を受けられた患者さんへ

当院では、全国の病院・施設と共同で

「頭頸部がん診療に関する多施設共同研究」

を2029年の7月(予定)まで実施しています。

1.対象となる方は当院 耳鼻咽喉科にて頭頸部がんの治療を受けた/受ける患者さんです

2009年1月から2029年12月までの期間に、当院に頭頸部がんにて通院し、診療・手術・検査などを受けたことがある方および今後受けられる方を対象としています。

2.研究実施機関(情報提供先)に関する情報

研究代表施設：慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科学教室

東京都新宿区信濃町 35 TEL03-5363-3287

研究代表者名：小澤 宏之 (耳鼻咽喉科 講師)

3.頭頸部がんの治療法の発展/新たな治療法の開発に役立てることを目的としています

頭頸部がんは、人間が生きる上で必要な機能である呼吸や嚥下、さらに発声、味覚、聴覚など社会生活を送る上で重要な機能が集中している部位に病変が生じます。このため、頭頸部がんが発生し治療を行うことで、これらの生活に重要な機能が障害され生活機能(QOL)の低下が生じる場合があります。また、頭頸部がんを治療するにあたっては、病気を治癒に導くことと生活機能(QOL)とのバランスをとる必要があります。また、顔面などに病変が露出しやすいため整容面についても配慮する必要があります。

頭頸部がんの頻度は、がん全体の5%前後とされており頻度が少ないです。頭頸部がんは発生する場所により病気の特徴が異なり、また、様々な種類のがんが発生します。このため、1つの施設での症例経験だけでは、類似した患者さんの数が少なくなります。このため複数の施設における症例経験を集積し、意義のある臨床データを作る必要があります。

頻度の少ない頭頸部がん症例を集積し解析を行うことで、頭頸部がんの治療法の発展に寄与し、新たな治療法の開発に役立てることができると考えています。

4.ご協力をお願いする内容

対象となる患者さんの診療記録から、治療歴・画像所見・手術に関する情報・病理組織診断の結果・術後の経過等を収集し、研究に利用させて頂きたいと考えています。

5.患者さんのお名前や個人情報がでることは一切ありません

この研究で取り扱う患者さんの情報は、個人情報全てを削除し、当院の研究者以外にはどなたのものかわからないデータ(匿名化データ)にして利用します。また、保存期間終了後は適切な処理で廃棄し、破棄します。

6.この研究への参加はお断りいただけます

この研究への、患者さんの診療記録の使用をお断りになっても、不利益を受けることは全くありません。たとえそれが研究期間中であっても、いつでもお断りいただけます。

その場合は、2029年12月31日までに、下記担当者にご連絡ください。

7.ご不明な点はお問い合わせください

この研究に関するご質問や確認のご依頼は、下記へご連絡ください。

連絡先：済生会横浜市東部病院 耳鼻咽喉科

部長 藤井 良一

電話 045-576-3000

住所 〒230-0012 横浜市鶴見区下末吉 3-6-1